

町内対抗野球大会の歴史は古く、昭和25年頃から中野小学校の校庭で行っていた、中野村の村内対抗野球が始まりといわれています。その後、昭和32年に邑楽村が誕生。その年の8月に村内対抗野球大会の第1回大会が中野小学校で行われました。

私も知ってびっくりしました。が、第3回から第6回大会までは準決勝と決勝戦を有線放送電話で実況中継していたそうです。

今も昔も苦労は変わらず選手集めが課題

昔は、仕事などで町を離れた人が帰省するお盆に大会が行われていたことから「盆野球」という愛称で親しまれたと言います。当時の大会は、地区によっては人数が少なく、隣接地区と合同で出場したチームもあったそうで、大会が始まったころは20チームくらいが出場していたそうです。

最近の大会でも選手集めに苦労しているという行政区も少なくありません。

ですが、少しずつ地域のつながりなどから声が上がって、隣接行政区と合同で出場しているチームも

長い歴史を刻む、町内対抗野球大会 運営者としてサポートしたい

この大会は子どもの夏休みに行われることから、青少年の健全育成につながると思われます。若い子たちには積極的に参加してほしいですね。そして、盆野球が「邑楽町に住む」きっかけになればうれしく思います。

また、今年も60回を数える記念大会で、記念品を用意しました。選手、そして観客の皆さんに少しでも多く参加していただき、この野球大会と一緒に盛り上げてほしいと思います。記念すべき暑い夏を、グラウンドで味わいましょう。

邑楽町体育協会
会長 **小澤 康弘**さん
(寺中・26区)



←第7回大会（昭和38年）表彰式。中野小学校の校庭が会場でした。



←第1回大会（昭和32年）優勝の天王元宿チームの集合写真

昭和32年、邑楽村誕生。歩みを進めて60年

「盆野球」の愛称で親しまれている町内対抗野球大会。今年で60回の記念大会を迎えます。町内で最も歴史のあるスポーツ大会でもあり、毎年、各行政区の代表選手によって町内のグラウンドで熱戦が繰り広げられています。しかし、社会情勢やライフスタイルの変化により、選手集めに苦労している行政区もあります。そこで、最近の大会の現状を選手や関係者などに聞きました。

Monthly PickUp

町内対抗野球記念大会特集

地域が支える。盆野球



歴代優勝行政区

回数	年度	行政区名
60	H 28	8月14日決勝戦
59	H 27	鷲上下(12・13区)
58	H 26	前原(4区)
57	H 25	前原(4区)
56	H 24	十三坊塚(6区)
55	H 23	谷中蛭沼(11区)
54	H 22	十三坊塚(6区)
53	H 21	前原(4区)
52	H 20	鷲上下(12・13区)
51	H 19	上下西宿(7区)
50	H 18	水立大黒(23区)
49	H 17	前原(4区)
48	H 16	前原(4区)
47	H 15	水立大黒(23区)
46	H 14	水立大黒(23区)
45	H 13	谷中蛭沼(11区)
44	H 12	前原(4区)
43	H 11	谷中蛭沼(11区)
42	H 10	水立大黒(23区)
41	H 9	店高原(28区)
40	H 8	店高原(28区)
39	H 7	谷中蛭沼(11区)
38	H 6	水立大黒(23区)
37	H 5	水立大黒(23区)
36	H 4	水立大黒(23区)
35	H 3	店高原(28区)
34	H 2	水立大黒(23区)
33	H 1	水立大黒(23区)
32	S 63	西ノ根宮内中島(24区)
31	S 62	水立大黒(23区)
30	S 61	水立大黒(23区)
29	S 60	前原(4区)
28	S 59	前原(4区)
27	S 58	秋妻(17区)
26	S 57	前原(4区)
25	S 56	藤川(16区)
24	S 55	坪谷(22区)
23	S 54	店高原(28区)
22	S 53	店高原(28区)
21	S 52	石打(20区)
20	S 51	藤川(16区)
19	S 50	水立大黒(23区)
18	S 49	上下西宿(7区)
17	S 48	坪谷(22区)
16	S 47	石打(20区)
15	S 46	西ノ根宮内中島(24区)
14	S 45	西ノ根宮内中島(24区)
13	S 44	西ノ根宮内中島(24区)
12	S 43	石打(20区)
11	S 42	石打(20区)
10	S 41	西ノ根宮内中島(24区)
9	S 40	石打(20区)
8	S 39	石打(20区)
7	S 38	石打(20区)
6	S 37	石打(20区)
5	S 36	石打(20区)
4	S 35	石打(20区)
3	S 34	古家十軒(30区)
2	S 33	横町化楽(3区)・前原(4区)合同チーム
1	S 32	天王元宿(5区)

※第2回大会は世帯数が少ないため合同チームで出場。第21回と27回大会は、降雨のため同時優勝。

出たかった盆野球。ついにかなった、夢の舞台



横町化楽(3区) × 上下西宿(7区)チーム
大野 将輝さん
(横町化楽・3区)

18 歳の夏、周りの同級生たちが盆野球に出ているのを観客として見に行きました。「俺もあそこでプレーしたいな」と思っていたのを今でも覚えています。

それまで盆野球に出たのは中学2年生のときの1回だけ。社会人になってからは自分の行政区は人数不足で出場していなかったため、友達と野球しているのを見に行っただけ。うらやましく思っていました。

そこで、なんとしてでも出たかったので、一緒にソフトボールをやっていた宮澤さんに相談。そして、ついに2年前の夏に夢が実現しました。色々とお話を聞かせてくれた人々には感謝でいっぱいです。



初戦は本当に楽しかったです。やっぱり、盆野球は他の野球大会と盛り上がり方が違いますよ。自分のプレーで会場が盛り上がった瞬間なんて本当に最高の気分になりますね。そして何より楽しみなのが、今までのチームメイトと対戦できること。同級生との勝負は特に気合いが入ります。

やっぱり、巨栗町の夏は盆野球です。本当に毎年楽しみにしています。これからもどんな形でも、盆野球に出場し続けられることを願っています。

目ごろのつながりがチームの絆の強さ



一本木(18区) × 渋沼(19区)チーム
佐藤 康広さん
(一本木・18区)

私 が盆野球に出始めたのは2年前。足利市から巨栗町の一本木に引っ越してきたときに誘われたことがきっかけでした。

盆野球を始めてからは、本当に地域のつながりが増えました。それから、消防団や町民体育祭など町の行事に参加する機会が増えました。誘ってくれた人には本当に感謝しています。

初めて盆野球に出たときは、幅広い年齢層の人たちが一緒に野球をしているので、驚きました。うちのチームは合同チームですが、そんなことは感じられないくらいまとまっていると思います。もちろん普段の消防団活動でも一本木と渋沼と一緒にやっ



消防団活動など地域ぐるみのつながりが、盆野球での合同チーム発足のきっかけになったそうです

ることもあり、そういう日ごろの地域のつながりが、チームの良い雰囲気を作り上げているのだと思います。人数は多くないですが、今年も合同チームで盆野球を楽しみながら、地域の人たちと交流を深めていきたいと思っています。



18区・一本木 × 19区・渋沼の合同チームに聞く



一本木(18区) × 渋沼(19区)チーム
國井 理敏さん
(渋沼・19区)

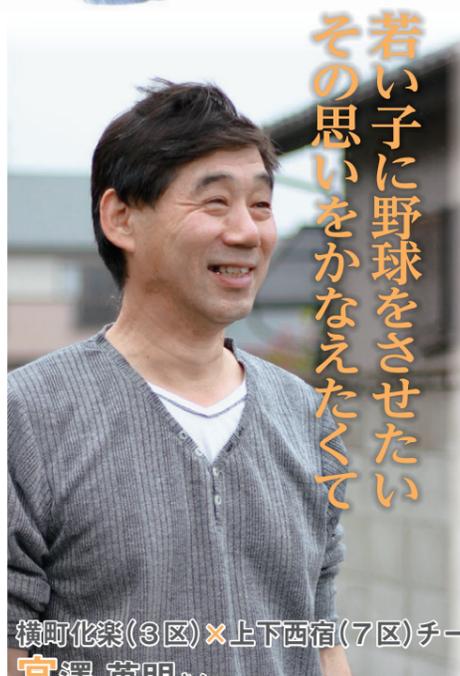
消防団のつながりが合同チームの架け橋に

消防団のつながりが、合同チームの架け橋に。盆野球を始めてからは、本当に地域のつながりが増えました。それから、消防団や町民体育祭など町の行事に参加する機会が増えました。誘ってくれた人には本当に感謝しています。

これからも、地域で絆を強めるために消防団活動を通じて盆野球に出場していきたいと思っています。



3区・横町化楽 × 7区・上下西宿の合同チームに聞く



横町化楽(3区) × 上下西宿(7区)チーム
宮澤 英明さん
(上下西宿・7区)

若い子に野球をさせたい その思いをかなえたくて

最初は、一緒にソフトボールをやっているチームのメンバーに、どうにかならぬかと相談。しかし出場するのは難しい状況でした。なぜなら町内対抗野球大会は、行政区

を越えての出場はできないというルール上の壁があったからです。なので、このチームも受け入れはできないとのことでした。その後、何か方法はないかと考えていたところ、隣接行政区であれば合同で出場できることを知りました。もうこれしかないなと思い、数か月後に控えていた大会に向けて、体協役員さんをお願いしに行きました。そして実現し、今に至ります。

渋 沼と一本木が合同チームで出場するようになったのは2年前。平成21年度を最後に、渋沼は単独チームでの出場ができていませんでした。

その後、一本木も年々盆野球メンバーが減ってきたという話を聞きました。そんなとき、消防団の集まりで「渋沼も一本木と一緒に盆野球出よう」という話で盛り上がったことがありました。そこから、各行政区の体協役員さんが動いてくれて合同チームが実現しました。消防団のふとした会話が、合同チームの実現につながったのかなと思っています。

player

チームを支える



大会を支えるのは、行政区チーム。そしてチームを支えるのはプレイヤー(選手)です。今年も盆野球に燃える選手の皆さんにお話を聞きました。



生涯現役。 地域のために 投げ続けたい

盆 野球には、13歳のときから出場しています。若い頃に石打が連覇していたときの記憶は今でも忘れません。当時は8月14・15日の2日間で大会を行っていたので、1日3試合の連投は当たり前でした。さすがに真夏の連投はきつかったので、毎試合栄養ドリンクで体をごまかしながら投げ続けて

高松 秀男さん
(石打・20区)

いました。すると、途中で全身がしびれて倒れてしまったことがありました。今では、いい思い出ですが……。

69歳まで野球を続けられているのも両親のおかげ。両親には本当に感謝しています。これからは地域のため、そして若い子を育てていくために自分が見本となって、現役をずっと続けたいと思います。



地域と つながる盆野球。 盛り上がり に驚き

人まで真剣にプレーしていて、自分も本当に楽しめました。盆野球って本当にいい大会ですね。知らない土地に来た人にとっては、地域とのコミュニケーションを取るきっかけになりますね。今年も地域の人たちと一緒に試合を楽しみたいと思います。

木村 一也さん
(十三軒・27区)

今 までずっと野球漬けで過ごしてきた私。邑楽町に来てからは、ソフトボールチームに所属していました。盆野球に出ることになったのは約1年前。十三軒に引っ越しして来たときでした。たまたま野球の上着を着てあいさつに出かけたことで誘われました。開会式から人の多さに驚きました。試合も若い子から年配の



大人ってすごい。 見ているだけで、 刺激になる盆野球

小 学3年生のときに始めた野球。今は邑楽南中学校でキャプテンをしています。盆野球には、中学1年生のときから参加しています。初めて試合に出たのは今年の夏。バッターボックスに立ったときはすごく緊張しました。そして、ボールの速さにとても驚きました。守備はサードを守り

井田 樹さん
(水立大黒・23区)

ました。1球目の打球は緊張しましたが何とかアウトにできたので、ほっとしました。その経験が少し自信になって今に生きているように思います。

大人のプレーって、見ているだけでも刺激になります。自分ももっとうまくなりたいという気持ちになります。今年の大でも自分のできることをしっかりとやりたいです。

地域が支える。盆野球

7 2016 * JUL

60th Ora Town Baseball Competition



お盆は野球。 地域の絆が魅力

町体育協会野球部
部長 金井 孝司さん
(前原・4区)

60 回も続く町内対抗野球は、10代から70代までの幅広い年齢層の人たちが地区の代表として一緒に野球をする貴重な機会です。

野球部としては毎年、体育協会の地区役員さんには本当に感謝しています。

この盆野球が長年続けてこられたのも、地区役員さんが一生懸命、選手集めをしているからだと思います。選手の方皆さんも、一戦一戦、地区役員さんや地区の人たちに感謝の気持ちを持ちながらプレーしていただけだと思います。盆野球は試合の勝ち負けだけではなく、野球を楽しむこと、そして地域の人たちと交流できることが魅力だと思います。特に試合後の懇親会な

どは、さらに地域の絆を強めることができると思います。

試合に出た人も出なかった人も「野球」という同じ話題で盛り上がり、普段はあまり関わらない年代の人と交流を図ることが出来ます。これが盆野球の魅力だと、私は感じています。

昔と比べ、子どもは少なくなり野球人口も減りました。けれど、まだ邑楽町にはたくさん野球好きがいると思います。これからも、野球好きの皆さんはぜひ地元邑楽町に帰って来て、「お盆は野球」という気持ちで、盆野球を支え続けていただければと思います。

manager

大会運営を支える

大会を支えるのは、行政区チーム。そして、大会運営者の皆さんです。町内対抗野球大会について、お話を聞きました。



審

判部としても、この大会は毎年楽しみにしています。私も長年、町内対抗野球に携わってきましたが、この大会は本当に熱い大会だと思っています。

他市町でも地区対抗野球大会の審判員をしますが、これほど町中が盛り上がりつつある野球大会は邑楽町だけではないでしょうか。幅広い年代が一緒になって野球をするのはすごくいいですね。

私たちが審判部としては、選手たちが気持ちよくプレーできるように公平公正なジャッジを心がけています。ひとつのジャッジで試合の流れが変わってしまうこともありますからね。

公平公正なジャッジで 大会を支え続けたい

町体育協会審判部
部長 岩谷 賢一さん
(谷中蛭沼・11区)

それと、選手の皆さんには注意してほしいことがあります。熱中症やけがです。審判員としても、試合をテンポ良く進めるために声かけなどを行っていきたくと思っています。何事もなく、試合が終わることが審判員の願いですから。審判員の魅力は野球の試合を一番近くで見られることです。もちろん長打やホームランが出たときは私も興奮します。ただ、今は審判員不足で、この大会は各チームにも審判員のご協力をいただいています。大会の運営に、審判員は欠かせません。興味がある人はぜひ私たちと審判員をやってみませんか。一緒に審判員として盆野球を支えてくれる人が増えることを願っています。



第60回 町内対抗会 野球大会

町中が熱くなる夏、今年も開幕！



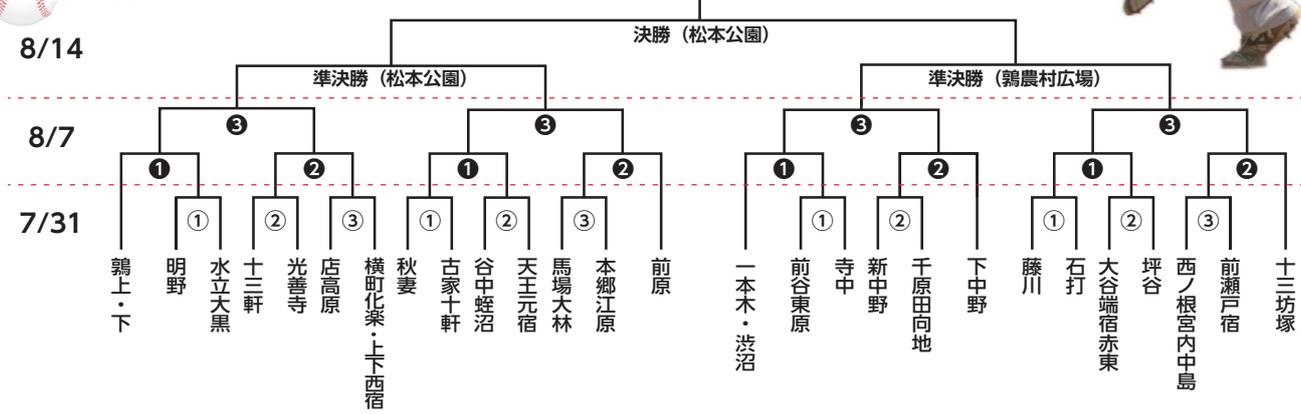
第60回

7月31日(日)
 開会式 午前7時45分～(松本公園)
 第①試合 午前9時～
 第②試合 午前11時～
 第③試合 午後1時～

8月7日(日)
 第①試合 午前8時30分～
 第②試合 午前10時50分～
 第③試合 午後1時10分～

8月14日(日)
 準決勝 午前8時30分～
 決勝 午前11時30分～

組み合わせ表



会場一覧

松本公園 青少年広場 広谷公園 鶏農村広場

松本公園

所在地: 石打1140
 中堅: 120m
 右翼: 95m 左翼: 93m

青少年広場

所在地: 篠塚1411-2
 中堅: 121m
 右翼: 97m 左翼: 105m

広谷公園

所在地: 赤堀1506-1
 中堅: 105m
 右翼: 89m 左翼: 89m

鶏農村広場

所在地: 鶏1318-1
 中堅: ∞m (フリーのため測定不能)
 右翼: 109m 左翼: 139m

